

評価項目			要求要件	評価区分	得点配分			技術上の基準		加点の採点
大項目	中項目	小項目			合計	基礎点	加点	基礎点	加点	
0	仕様書の遵守		仕様書に規定する業務の目的や内容に反し、又は矛盾する提案がないこと。	必須	10	10	-	提案書が全体として仕様書を遵守しており、業務の目的や内容に反し、又は矛盾する内容がないこと。	-	-
1	監理の基本方針		仕様書を踏まえ、監理方針策定に当たっての基本方針を記述する。	必須	25	10	15	本工事内容を理解した監理方針であること。	皇居外苑の桜田門や石垣等の文化財的価値等を踏まえたなかで、その価値を損ねない監理方法であるか。業務を実施する上で、もっとも留意すべき点を明らかにした上での記述であるか。基本方針の内容に確実性があるか。 可:3点とする。	
2 施工監理の実施方法										
提案	2.1 共通仕様書第2章 2.1.1.(1)の監理業務内容	本業務における設計意図の要点を簡潔に記述すること	必須	20	10	10	設計意図について基本的な要点は理解している提案であること	設計意図の理解度の高さによって加点。 可:2点とする。		
	2.2 共通仕様書第2章 2.1.1.(2)及び(3)の監理業務内容	本業務における施工図等の確認及び工事の確認で重要と思われる事項を簡潔に記載すること	必須	20	5	15	皇居外苑の特性及び本工事内容を基本的に理解した提案であること	本工事における各工程において重要と思われる事項が適格に記載されているかによって加点 可:3点		
3	実施計画		仕様書に係る作業事項を作業進行予定表にまとめること。	必須	5	5	-	実施可能で妥当な作業進行予定表であること。	-	-
4 実施体制										
	4.1 実施体制、役割分担等	業務実施体制について、実務的な責任者(管理技術者)の氏名・役職、従事者数、従事者の役割分担、内・外部の協力体制等を図表にまとめること。	必須	20	5	15	適切な役割分担等により業務執行に必要な体制が構築されていること。	効果的・効率的な実施体制であるか。業務毎の専門性を考慮した人員配置となっているか。適格な内・外部の協力体制が構築されているか。 可:3点とする。		
	4.2 従事者の実績、能力、資格等	業務に従事する者の実績、本業務に関する能力の資料、資格等を明示すること。	必須	20	5	15	実務的責任者(管理技術者)に同種及び類似の実績があること。	同種業務従事年数が10年以上あるか。類似業務従事年数が10年以上あるか。専門分野、所有資格が適格であるか。 可:3点とする。		
			必須	20	5	15	各主任技術者及び担当技術者に同種及び類似の実績があること。	同種業務従事年数が5年以上あるか。類似業務従事年数が5年以上あるか。専門分野、所有資格が適格であるか。 可:3点とする。		
5	組織の実績		類似業務の実績	必須	20	5	15	同種及び類似の業務実績があること。	種類別・時代別、照明における夜間景観の形成に関する設計または監理業務を行っている実績があるか。 可:3点とする。	
6	環境マネジメントシステムの認証取得状況		環境マネジメントシステムの認証を取得していればその取得している認証制度を記載するとともに、認証に係る証明書のコピーを添付すること。ただし、開札時点において認証期間中であること。		5	5			環境マネジメントシステムの認証を取得している場合は5点を加点とする。	
技術点小計					165	60	105			加点合計
価格点					100					基礎点
総計					265					価格点
									総合評価点	

基礎点部分の採点は、技術上の基準を満たす場合に、当該基礎点全部を得点とする。

加点部分の採点は、配点5点の場合、技術上の基準に基づき、優:5点、良:3点、可:1点、不可:0点、の4段階評価とし、配点に応じて係数をかけて得点を算出する。基礎点がある項目に係る加点部分の「不可:0点」とは、基礎点の基準は満たす(基礎点は得点)が、加点部分の基準をなんら満たさない場合である。